



六郷中だより

六郷中学校だより 第9号

令和 5年 1月27日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



一つ上のステージにつながる3学期

1月は往ぬる（行く）月、2月は逃げる月、3月は去る月と例えられ、学校生活の一年間の締めくくりとなる1月から3月の日々は、思いのほか早く過ぎ去ってしまうものだと、先人からの戒めとして、言い継がれてきました。

実際に3学期は、約2ヶ月半の短期決戦の学期となり、その中で、今までの一年間のまとめとしての振り返りを行うとともに、4月からの新しい生活に直接つながる決意や準備を行う学期となります。3学期の毎日の生活や活動は、これからの一つ上のステージにつながるものとなるよう願っています。過日、実施した始業式（1/10）には、次のような言葉を生徒たちに伝えました。

これからの3学期の生活や活動は、3ヶ月後の皆さんの生活、つまり4月からの自分自身の生活に、直接つながる日々となります。4月には3年生の皆さんは中学校卒業後の新しい生活に、そして1、2年生の皆さんは2年生、3年生に進級した新しい生活にと、一つ上のステージへと進みます。つまり、これからの3学期の毎日の生活や活動は、4月からの一つ上のステージに向けての生活や活動にならなければなりません。

皆さんにとって、次の一つ上のステージとはどんなステージでしょう。4月には、皆さんはどんな姿に成長しているでしょう。

そこで大切になってくるのが、4月からの一つ上のステージを意識した生活や活動です。今までの日々の成長の上に皆さんが立ち、3ヶ月後の一つ上のステージに立つ、成長した自分自身の姿を目標とし、これからの3学期の日々の小さな頑張りのある生活や活動の積み重ねが、皆さん自身の未来を、皆さん自身の手で、築いていけるはずです。

皆さんが、4月からの成長した自分自身の姿を目標に、これからの3学期の日々において、小さな頑張りを積み重ねていくことが、3学期の始業式を迎えた校長先生の願いです。頑張ってください。

さらなる「ジェンダーの平等」に向けて！

六郷中学校の教育活動においての、今日的課題の解決に向けては、進むべき方向や解決の方策、さらには校長としての願いを、折に触れて生徒や教職員に示し、時には保護者の皆様にもご理解を得ながら、よりよい解決策や創造的な教育活動へとつながるよう、今まで取り組んできました。

今までの教育活動の課題の多くは、学校の裁量や指導の改善、生徒たちの理解や取組をとおして解決につなげてきました。たとえば「生徒数の減少により、日常的な活動が難しくなった部活動の改編としてのバドミントン部の創部」「新聞をほとんど、もしくは全く読まない生徒の実態の改善に向けて、新聞活用学習支援サイト『さんスタ』の朝活動への導入」などが、今年度、実施した課題解決に向けての取組となります。

さらには、社会通念の深まりや考え方の変容により、明らかになってきた教育活動にかかわる課題についても、私たち教職員の意識の向上を含めて、今までも慎重に課題解決を行ってきた課題が「ジェンダーの平等」に関する教育活動です。

六郷中学校としても、今まで性別にとらわれない教育活動に向けての取組として「男女混合名簿の導入」「男女別成績処理の廃止」「男女混合の下駄箱やロッカーの配列」「生徒会役員・学級役員の男女別定員の規定の廃止」等、当たり前としてとらえていた教育活動での習慣を、議論を重ねながら再検討し、見直しを行ってきました。

そのような経緯の中、さらなる「ジェンダーの平等」の実現に向けて、今後、検討していくべき課題として考えられるのが「ユニバーサルな制服」の導入です。当然、私たち教職員がまず研鑽を積み、生徒ならびに保護者の皆様の考えを含め、時間をかけて検討していくべきものだと考えています。今後の検討の進捗について、その都度ご案内をしていきます。よろしくお願いいたします。